

福島県総合計画「県北地域主要施策」(2022(令和4)年度～2030(令和12)年度)概要

ふくしまの将来の姿

県づくりの理念

- ・多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会(県)づくり
- ・変化や危機にかなやかで強靱な地域社会(県)づくり
- ・魅力を見だし育み伸ばす地域社会(県)づくり

基本目標

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる
ふくしまを共に創り、つなぐ

みんなで創り上げるふくしまの将来の姿

“ひとを大切に
する”
(=ひと)

“安心・快適に
暮らせる”
(=暮らし)

“働きたい場所
(仕事)がある”
(=しごと)

「ひと」「暮らし」「しごと」が調和しながら
シンカ(深化、進化、新化)する豊かな社会
※本県は、震災からの復興と、急激な人口減少などの
課題への取組を同時に進める必要がある
→ 持続可能な開発を目指すSDGsの方向性と一致

県北地域の概要・特徴

概要

面積	地域内総生産	世帯数	人口	就業人口
1,753.34km ² (県全体の12.7%)	1兆8,854億円 (県全体の23.8%)	188,185世帯 (県全体の25.3%)	462,134人 (県全体の25.5%) (男191,947人・女270,187人)	239,518人 (県全体の26.0%)

特徴

- 政治・行政、教育・文化、医療等の都市機能が集積
- 南東北3県の結節点に位置し、新幹線、高速道路など高速交通網が充実
- 豊かな自然が織りなす美しい景観や温泉地と祭りをはじめとする伝統行事など多くの観光資源
- 産業構造の内訳(上位)製造業4,709億円(25.0%) 不動産業1,774億円(9.4%)
保健衛生・社会事業1,642億円(8.7%)
- 情報通信、輸送用機械産業などの製造業が集積
- 農業：(北部)果樹や野菜が中心、(南部)稲作中心、(中山間地域)畜産等が中心

県北地域の目指す方向性

豊かな自然や都市機能、交通インフラをいかし、「地域経済を支える産業の振興」「多彩な交流を通じた地域活性化」「誰もが安心して暮らせる環境づくり」を推進

課題1 安全で安心な暮らしの確保

- ① 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ② 果物を始めとする農産物や加工食品の安全・安心
- ③ 不登校やいじめ対策など、学びのセーフティネットの充実
- ④ 子どもの頃からの健全な食生活と、運動習慣の定着、健康診断の受診率向上
- ⑤ 医療、介護・福祉分野における人材の育成・確保

施策1 誰もが安心していきいきと暮らせる環境づくり

- ① 妊婦や子育て世代の相談対応
・子育て世代包括支援センターの機能充実等
 - ② ふくしま県GAP(FGAP)の推進、ふくしまHACCPの導入促進
・県北地方ならではのブランド力の強化
- 関連指標
・福島県で子育てをしたい(県民意識調査)
・健康寿命



- ③ 悩みを持つ児童や生徒の相談に対する専門家による支援
・障がいのある子どもたちが安心して学べる環境の充実
 - ④ バランスの良い食生活、適度な運動、検診受診の普及啓発
・地域や職場等での健康づくりの推進
 - ⑤ 保健・医療・福祉の教育カリキュラムの策定、効率的な教育体制の構築
- 【現状】61.4%(R4) → 【R12目標】86.0%以上
【現状】男性72.28歳、女性75.37歳(R1) → 【R12目標】男性75.60歳、女性77.85歳

課題2 人口減少社会における地域の維持・活性化

- ① 人口の減少や高齢化の進行による地域活力の低下への対応、地域コミュニティの維持
- ② 自然・食・温泉などの魅力の発信による観光・交流人口の拡大、外国人観光客の受入態勢の整備

施策2 多彩な交流を通じた地域の活性化

- ① 県北地方の文化や歴史などの「誇り」に光を当て、地域を元気にする住民主役の個性と魅力ある地域づくりを支援
 - ② ライフスタイルの多様化等を踏まえた移住・定住の促進
・交通アクセスの優位性を踏まえた地域間交流による関係人口の拡大
・小、中、高での県北地方の歴史・文化等の理解促進、地域コミュニティを担う人材育成
・SNSや動画による四季を通じた魅力の発信
・農作物の収穫などの体験メニューの充実、着地型観光の推進
・外国人誘客の促進
- 関連指標
・移住者数 【現状】2,832人(R4) → 【R12目標】4,500人
・観光客入込数 【現状】47,687千人 うち県北47,687千人(R4) → 【R12目標】60,000千人

課題3 地域産業の振興と人材の育成・確保

- ① 学術研究機能、交通インフラ等のポテンシャルを最大限にいかした幅広い産業の育成・集積
- ② 幅広い産業での人材育成・確保
- ③ 農林業の担い手育成、収益性の向上、高附加価値化、鳥獣被害対策
- ④ 事業主の高齢化や後継者不足による廃業や空き店舗の増加、それに伴う地域経済の衰退や商業機能の低下

施策3 地域経済を支える産業の振興、人材の育成・確保

- ① 輸送用機械・情報通信用機械産業に加え、再生可能エネルギー、医療関連産業やロボット関連産業等の企業誘致、人材育成の推進
 - ② 小学校段階からの継続的なキャリア教育の推進
・県立高校における職業観や進路意識の醸成
・地域で働くことの魅力の発信、地元への就職促進
 - ③ 新規就農者の技術習得、農地確保等への地域全体の支援体制づくり
・先端技術導入による生産拡大、6次化推進などによる所得向上
・遊休農地の解消や防護柵の設置など、鳥獣被害防止対策の推進
 - ④ 経営者へのセミナー等を通じた創業・事業承継の促進
・空き店舗を活用した起業支援等による商店街の活性化、地域の魅力向上
- 関連指標
・新規高卒者の県内就職率 【現状】83.7%(R4) → 【R12目標】82.4%
・新規就農者数 【現状】367人 うち県北96人(R5) → 【R12目標】400人 うち県北96人以上

課題4 持続可能な生活を支える環境の整備

- ① 復興・創生を支え、新たな交流を生み出す道路ネットワーク、地域生活を支える道路整備
- ② 大規模な自然災害に対応する地域防災体制の維持、市町村と連携した情報発信
- ③ 大規模災害時における必要な機能の維持、災害に強い社会基盤の整備

施策4 災害に強く、持続可能な生活を支える基盤の整備

- ① 広域交流を促進する道路整備
・地域連携道路の整備推進、地域の安全で円滑な通行の確保
 - ② 危機管理型水位計等の設置、命を守る行動につながる分かりやすい情報発信
・消防団員の確保など、地域防災体制の維持・強化
 - ③ 災害に強い社会基盤の整備
・多面的機能(里山環境保全等)の維持・増進
- 関連指標(自分の暮らす地域に関する県民意識調査)
・交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されている 【現状】31.9%(R4) → 【R12目標】66.0%以上
・自然災害などに対して安心して暮らせて災害に強い 【現状】48.0%(R4) → 【R12目標】47%以上